

やまたらけ

YAMADARAKE



JUNE
2021

94

二羽のカラスは
奈良田の不思議~





奈良田の盆踊り
 大正時代の記録には、奈良田集落が所属する旧西山村全体で「盆踊り盛大なるも、盆踊りのみならず僅かの遊行にも村内の老幼男女混合して舞踊すること年中なり」との記述がある。とすれば、奈良田に残る民謡と盆踊りは、少なくとも百年以上の歴史があるわけだが、ここで歌われていた民謡も、いまは奈良田でしか歌い継がれていない。昭和時代に入り、奈良田では住民グループ「白樺会」が発足し、民謡保存活動を進めてきた。民謡ブームと相まって、全国各地からの出演依頼に応じ、集落での盆踊りの主催も担うようになった。白樺会が発足する以前は、広い庭のある個人の家に集まって踊っ

ていたそうだが、代表曲『奈良田追分』の歌詞に「盆の踊りは寺の庭」とあるように、その後の盆踊り会場は、集落にある外良寺前の広場が利用された。盆踊りの日は住民だけでなく、早川の河原へテントを張る南アルプスの登山客や旅館の宿泊客も、夕飯を食べてから集まっていたという。しかし、平成2年(1990)を最後に盆踊りは休止状態に入る。平成16年(2004)、平成21年(2009)に二度復活するも、その年限りになってしまい、次年度以降に続かなかった。

「奈良田盆踊り復活祭」

一方で、同じく高齢化などの影響で



集落を歌いつなぐ



YAMADARAKE

94



縮小していた民謡保存活動は、平成20年代後半に入り、再び盛り上がりを見せる。白樺会は集落在住の住民と集落出身者との協力を進め、定期的な交流会が催されるようになっていた。さらに、集落に移住してきた新住民も三味線や踊りの担い手に加わり、参加が実現した「全国日本民謡講習会」は、久しぶりの外部からの出演依頼だった(やまだらけ82号を参照)。そうしたタイミングで、新住民の中から盆踊りの復活が提案されたのは、自然な流れだったかもしれない。しかし地元住民は、一度復活させようとして続かなかった経験もあり、そんなに簡単なものではないとの認識の方が強かったようだ。

盆踊り復活に向けての企画は、近年移住してきた若い世代の新住民が中心になって実行委員会を立ち上げて進められた。分からないことは経験豊富な地元住民に相談し、また、実行委員で話し合っ決めてきたことは、地元住民はもちろんのこと、場合によっては出身者にも連絡し、住民全体が納得のいくようにと、情報共有を丁寧に行いながら準備を進めた。

そして平成30年(2018)8月13日、「第1回奈良田盆踊り復活祭」が開催された。演目はすべて生歌唱、三味線も生演奏。SNSやチラシ、新聞での情報発信の効果もあり、当日は集落出身者だけでなく町内外の一般参加者も大勢集まり、主催側の一同を喜ばせた。その翌年も引き続き開催され

序

私は平成30年から、当時所属していた箕浦一哉ゼミ(山梨県立大学)の課外活動で、古屋集落でおこなわれている集落住民と町外ボランティアによる、集落維持管理の共同作業に参加してきた。それで早川町をたびたび訪れるようになり、集合までの時間や作業が早く終わったときには、いろんな場所を案内してもらい、会話する町民が増えていく中で、早川町は生き生きとしている町だと感じていた。

県内では高齢化率が最も高く(令和2年度高齢者福祉基礎調査結果)、令和3年に

入って人口が千人割れをしたというこの町で、どうしてそう感じるのか。私は卒業研究で早川町をフィールドとして、その秘密を探った。選んだテーマは「奈良田盆踊り」。かつては外良寺前の広場から溢れ出るくらい大勢の人が集まって、夜遅くまで盛大に開催されたという地域の盆踊りは、今も地元住民にとって懐かしい思い出として残っている。「登山客が登山靴でガタガタと踊りをしてたね」「昔はお盆というみんな奈良田に帰ってきて、まあ賑やかだったね。(うちには旅館業だったから)お客さんを盆踊りに

送り出して、急いで片づけをやって、それから参加した。唄い手がつかえひっかえ酔っ払ってなんぼでも歌っていた」など、当時の様子を鮮やかに語っていた。

参加者の減少や集落の高齢化などからしばらく休止状態だった盆踊りは、平成30年に復活を遂げ、今年4年目を迎える。ここで、私が卒業研究を通じて見聞きした復活の取り組みを振り返り、奈良田集落で盆踊りが開催される意味について考えてみたい。(秋山恵里)





た第2回では、「盆オドラ」を自称する、毎年お盆の時期に全国の盆踊りをハシゴしているという、盆踊り好きの県外からの意外な参加者が何人も駆けつけた。また、ただ踊りを楽しむだけでなく、未来につなげようと、新住民の新しい自由な発想で、1年目はシンポジウム、2年目は映画「盆唄」の上映会がプログラムに盛り込まれ、第1回の閉会の言葉では実行委員長より「何としても10年は続ける」と宣言された。



2020年 コロナ禍でも続けた盆踊り

「和気あいあいとしていてすごく盛り上がりすぎていて素晴らしいと思いました。移住してきた若い人たちがいたからやれていることで、民謡を消してはいけなと思って活動してきたけど、盆踊りの復活は先立つ人がいなかったから感謝しています」地元住民、出身者も大いに喜んだ。

活気づけたのは、令和2年4月におこなわれた白樺会総会において、盆踊りが白樺会の正式行事となり、名称からも「復活祭」が消え、『奈良田盆踊り』と改められることが決まったことだ。これで名実ともに盆踊りは復活を遂げた！

奈良田盆踊りの魅力は、まず何と言っても、奈良田の人々が継承してきた特別な民謡だ。盆踊りで踊るのは、南アルプスの山々を越えてきた、県外に由来を持つ「奈良田追分」、「八幡（奈良田盆唄）」、「エンサー（加賀音頭）」の三曲。ちよつと複雑で、一度見ただけでは覚えられない不思議な踊り。事前の練習会にも参加させてもらったが、私ははじめ、踊りも唄もうまくできなくて恥ずかしかった。けれど最後には、「うまいもまずいもなくみんなでやるもの」「踊りが苦手でも開き直っちゃえばわりと楽しい」という住民の言葉が、本当にその通りなのだ。

盆踊りの復活が意味すること

奈良田盆踊りは集落にとって民謡という伝統文化が継承される場であるとともに、集落が持続していくという意味を持っている。復活した盆踊りは集落出身者と住民との交流、つながりを深めている。また、町内の他集落の人、県内外の盆オドラといった、集落の外側の、いわゆる「関係人口」のつながりも生まれた。特に集落の新住民が心がけてきた丁寧なコミュニケーションは、お互いの状況を確認し共有し合う、集落の「相互扶助」の姿そのもののように、私には思える。大事なものは、地元住民・新住民が自分の集落を残したい、何とかしよう、という意思をあきらめていないことではないか。これは、古屋集落にも当てはまると思う。

そうした様々な人とのつながりをもって、奈良田集落がこれからも生き生きと奈良田らしく持続していくことを願っている。楽しい盆踊りが開催され続け、次の世代、その次の世代にも、奈良田らしさがずっと受け継がれていってほしい。



奈良田に恋して

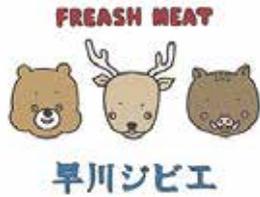
奈良田の民謡と踊りが、盛り上がりを見せている。かつて南アルプスの山々を越えて伝わってきたと考えられるこれらの地唄、そして盆踊りについて、奈良田在住の人たちへの聞き取りをまとめた『奈良田に恋して』と『DanSing [sá:yo]』（英語版）は、奈良田集落内の事業所で販売中。唄や踊りの現代的地位を探る試み。



1部 / 200円



お知らせ



鹿肉を気軽に！ 鹿キーマカレーパン販売始めました

株式会社 YAMATO
〒409-2714, 山梨県南巨摩郡早川町草塩 503
t: 0556 - 48 - 8086
e: info@hayakawagibier.com
www.hayakawagibier.com
www.facebook.com/gibier.hayakawa



早川ジビエ(株)YAMATOでは、どなたでも気軽にジビエ：鹿肉を召し上がっていただけるように新商品として、鹿ミンチたっぷり、手作りのパン生地で包んだ、鹿キーマカレーパンを販売開始しました。キーマカレーはオリジナルブレンドのスパイスと地元産梅で作った梅ジャムを隠し味に使っています。ご注文いただいてから油で揚げるので熱々カリカリです。週末オープンのレストランにて数量限定20個、平日のご注文は6個単位でお願い致します。1個399円。

hako.

営業時間：10:00 - 16:00
住所：早川町薬袋 274
www.hako.studio

cafe 定休日：金・土・日（その他不定休）
お香体験 / アートセラピー体験：オンラインにて要予約。
（金・土・日も予約可）

カフェ：ドリップコーヒー 400円 / ラテ 450円 / 焼き菓子 300円
体験：お香作り体験 2500円～ / アートセラピー体験 3500円～

みなさん、こんにちは。2020年10月31日、早川町薬袋にハコ・スタジオをオープンしました。この度こちらのスペースを拝借して、改めてのご挨拶となります。ハコ・スタジオは、「辺境の調和をデザインする」をテーマに創造されたクリエイティブスペースです。各種グラフィックデザイン業を行う傍、オープンスペースでは、コーヒー、ラテ、ティー、焼き菓子などが楽しめます。その他、お香作り / アートセラピー体験も可能です。自分だけのオリジナルのお香作りや、アートセラピーでの内的探求を通して、新しい自分に出会ってみませんか？今日も、良き一日を！



特別企画 鳥の目 虫の目

平成14年(2003)に発行を始めた『やまだらけ』。まもなく迎える100号の節目まで、上流研のこれまでの取り組みを6回に渡り、本誌で振り返っていきたいと思います。

その
01

「2000人のホームページ」



記事できた?
次は「稲又」
行くよ!

連載企画1回目となる今回で取り上げるのは「2000人のホームページ制作」。平成8年(1996)に持ち上がったこの企画は、当時の早川町人口約2000人の町民を対象に、一人ひとり取材して、社会で活用が始まったばかりのインターネットを通じて情報発信して交流を促進しよう、というものであった。平成10年(1998)から取材が始まり、平成14年(2002)に全37集落を一巡、その後も一巡目で取材できなかった人を中心に二巡目に突入し、平成23年(2011)まで続けられた。

春・夏・冬の年に3回、各時期に1~3週間くらいかけて集中的に聞き取りを進めていく。大学生を中心とした若者が多く参加し、ときには早川北小の児童も行動をとりにした。取材活動自体が、早川町を舞台とする交流の場を生み出すとともに、町民から聞き出した情報は若者を刺激し、魅了し、また一軒取材

が終わるたびにお腹一杯になっていることも多かった。取材参加をきっかけに、現在も早川町とのつながりが絶えない人も少なくない。

この活動を通じて収集蓄積した、町民が持つ知恵や技術、そして様々な思いが土台となり、その後生まれた、上流研の様々な事業へとつながっていった。当初はインターネットの普及が未然とも言える状況だったこともあり、地域住民や役場からの評価は低かったようだ。しかし今では、懐かしむ声や再開を望む声も聞こえる。集まり散じて人は変われど、「2000人のホームページ制作」は上流研の原点として、ずっと変わらず生き続けている。

やまだらけ定期購読のお願い

「やまだらけ」の発行は広告料と会員の皆様の会費で成り立っています。会員として、この取り組みを支えてください。

会員の皆様には、「やまだらけ」を毎月お届けいたします。今後も「山の暮らしの価値」と、それを後世に守り伝える人々の活動をお伝えして参ります。

【年会費】 正会員：10,000円
賛助会員：3,000円

【振込先】 ゆうちょ銀行 〇二九店
当座 0095644

【名義人】 特定非営利活動法人
日本上流文化圏研究所



上流研の取り組みを応援して頂いています！

**小さな町の
でっかい笑顔**
日本一人口が少ない町からのメッセージ
浜田尚子 / 文

「山村留学」を知っていますか？さまざまな理由から自然豊かな早川町(山梨県南巨摩郡)にやってきた子どもたち。子どもたちの心の交流と成長するすがたを伝えます。

定価 1,400円+税 ■128ページ ■A5判
ISBN 978-4-580-82422-5

文研出版 〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号
☎(03)3814-5187 FAX(03)3814-2157

ためて噛みごたえのある、
香り豊かな昔ながらの
「田舎そば」

**そば処
アルプス**

電話:0556-48-2666
【営業時間】11:00~15:00
山梨県南巨摩郡早川町黒桂584-1
※・金曜定休 ※祝日の場合は営業

**早川町特産品
観光 PR**

早川町の魅力を東京で発信します！
～お気軽にお問い合わせください。～
ANNIVERSARY CONCIERGE
アニバーサリーコンシェルジュ
TEL : 03-5823-4043

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の掘削自噴火口温泉では日本随一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿

西山温泉 慶雲館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 <http://www.kefunkan.co.jp>

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350

〒400-0422 山梨県南アルプス市荻沢 1356-1

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

理事長 井上聰一郎
山梨県南巨摩郡早川町小縄 26
電話 0556-45-2450

地域発展のお手伝い！地域の暮らしを守る！

早邦建設株式会社

早川町役場新庁舎

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
<http://www.soho3000.com/>

早川町で感動体験を…
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>

日新火災 日新火災海上保険 代理店

幡野保険事務所

〒409-3306 山梨県南巨摩郡身延町夜子沢4020
TEL 090-8014-1337
FAX 0556-42-3073

ENEOS

浜田屋商店
電話 0556-48-2311

霊峰七面山の登山口であなただけの旅を支える

株式会社 **俵屋観光**
バス ジャンボタクシー

有限会社 **俵屋旅館**
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル

株式会社 **望月工務店**

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1766
TEL・FAX 0556-45-2661

古民家カフェ **鎌屋**

早川町歴史民俗資料館

白旗史跡史記記念館

TEL 0556-20-5556

山の暮らしの豊かさを分かち合いたい

tsukuyomi-osukuni.com

古民家一棟貸しの宿 月夜見山荘
手打ち蕎麦と山の食 おすくに

山梨県南巨摩郡早川町西之宮 1094 ☎ 0556-45-2021

hako.
www.hako.studio

【編集後記】執筆者の卒業研究での論考を踏まえた、集落の在りよう考えさせる内容が興味深い。閉ざされていたと思われがちな山あいの村々が、意外に広範囲と交流しながら歩んできた歴史は、これからの地域づくりにも生かしていきたいものです。



発行元 / NPO 法人日本上流文化圏研究所
住所 / 山梨県南巨摩郡早川町薬袋 430
t: 0556-45-2160 f: 0556-45-2268
www.joryuken.net